

ID



予定日
様

上部消化管内視鏡検査に関する説明・同意書

【検査、治療の目的】

上部消化管内視鏡検査は、経口的または経鼻的に内視鏡を食道・胃・十二指腸に挿入して、炎症性疾患・ポリープ・潰瘍・癌などの病変の有無を評価するための検査です。

【検査方法】

医師の指示により止血に影響を及ぼす薬剤は検査前に中止していただく場合があります。胃の中の泡を除く薬(消泡剤)を飲んでいただいたあと、鼻及び喉に麻酔に伴う処置を行いません。その後、検査台で左側横向きになり内視鏡を挿入します。検査は通常5分で終わります。必要に応じて組織検査(生検)をおこなう場合があります。検査前の鎮痙剤、鎮静剤の注射は原則的にはおこないません。

鼻からの挿入が困難な場合がまれにあります。その際は経口からの挿入をおこないます。検査時に病変から出血や異物がみられた場合には医師の判断により、止血術や異物除去術などの処置を行うことがあります。

強い咽頭反射や合併症が起こった場合は検査を中止することもあります。

【検査に伴う危険性、考えられる合併症】・

すべての医療行為にはリスクがあり、一定の確率で合併症が起こります。本検査にも下記の合併症が報告されています。

①内視鏡による消化管粘膜の出血、穿孔・・・発生頻度0.005%

②検査に伴うショック(血圧低下など)、アレルギーなど・・・発生頻度0.004%

(参考:日本消化器内視鏡学:消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査報告2008年~2012年までの5年間)

③抗血栓薬休薬関連では、血栓塞栓症を誘発する可能性が示唆されています。

④マウスピースを強く噛むことで、ぐらついている歯が折れたり欠けたりすることや、高齢者では唾液の誤嚥により、遅れて肺炎をおこす場合があります。

上記、上部内視鏡検査の説明を受け

理解しましたので同意します

同意しません

年 月 日 ご署名

続柄()

依頼医師

説明者

事業所名